

# sasaki 佐々木 祥二 後援会ニュース

## 「新春県政報告と語る会」開催 埋めつくした会場に 更なる期待の声

参加者500名 熱烈な支持者が多数参集。木下幸安後援会会長が、来たるべき試練の年に備えて更なる後援会の結束を早くも呼びかけ！



熱心な支持者で、会場は埋め尽くされた

## 駒ヶ根の将来は佐々木県議と二人三脚で進めたいと杉本市長が、心強い抱負を述べた

中央政治が民主党に政権交代した。しかし上伊那医療広域圏で医療再生資金として、佐々木県議と市長が予算獲得の努力をした結果、25億円の事業資金が確保出来た。更に駒ヶ根病院も着工し、付属施設としての体育館の予算2億5千万も全額国庫負担で獲得ができたと報告された。

## 期待に応え全速前進・当面の課題は景気対策！

冒頭の挨拶  
新年でご多用の中、かくも多数の後援会の皆様方にご出席頂き、感謝感激であります。  
ご出席賜っております皆様方は、私を心からお支賜している「幹部中の幹部」と思っております皆様に、新春早々より一堂にお集まり頂き、単に恒例の県政報告会と考えておりましたが、後援会会長木下幸安様の熱心なご誘導のおかげで、後援会の総決起大会が始まりました。

つい三年前、奈落の底から這い上がるように、一通の手紙に全てを託し、心情を吐露して再起への行動を起した記憶が蘇って参りました。「佐々木祥二と語る会」と称して「駒ヶ根市文化会館の大ホール」での催しを企画しました。当時、私を心配する多くの方々から、「祥ちゃん、気は確かかよ！、あの大ホールは、このようなことで人が満員になったことはない。場所を隣の

ホールに移した方が良いでしょう。一などのお話もあり、今考えれば随分大胆な行動であったと思いついておられます。しかし、今日新年会にお集まり頂いたほとんどの皆様方は、三年前、全てを失っていた私の呼びかけにもかかわらずご参集賜り、そして爾來、後援会会員拡大に日夜を惜しまりご尽力賜った方々ばかりであることには私はずいぶんおどろかされています。そして私の駒ヶ根に、対する思い、愛する故郷駒ヶ根、その駒ヶ根を良くしたい。皆様と共に一緒になって、政治の原点は一地域から出発するものと感じ、そして、心の安らぎ、安心と安全、豊かな駒ヶ根創造への情熱を昨晩語らせて頂きましたが、三年前も昨晩も同じ気持ちであります。

日本の政治状況は、中央では、政党間争いで大揺れに揺れ、相変わらず「政治とカネ」の問題で混迷を深めておりますが、私は地方政治は「市民党」「県民党」を標榜すべきだと考えており



新春の抱負を語る 佐々木祥二

語る会、佐々木祥二発言 (要旨要約)

ます。一党一派にとらわれず、「偏らない」・「捕らわれない」・「偽らない」の三つの信条を持ち続ける、保守中道の立場で健全な民主主義と、自由主義経済を守る立場を堅持し、豊かな駒ヶ根づくりのため、

### 今、三者鼎立の時

鼎とは、三本の足の机の意味である。駒ヶ根市は、市長が居て市民が居る、そして政治家が居る。三者が心を一つにして協力しなければ、鼎は倒れる。

## 縣市協調路線は当然で、それは市民の願い！

市長を選んだのは市民である。私を県議に選んでくれたのも駒ヶ根市民である。以上前提に立てば、第三者的な立場で、いろいろと揶揄する向きもあるが、当事者どうしは遠慮しており、駒ヶ根市のため立場を超えて協力し合うのが当然であれば、出来ないものでも、何とか出来るように努力する。それが政治であり、私の役割と考えている。簡単な言葉で申し上げるならば、私は市民の望みを「県政へ届ける」の一言に尽きる。幸いにして、伊那谷から新しく選出された民主党の「加藤 学」様からもこの度ご激励を頂き、又、自由民主党からは、長野県支部長の吉田博美様にご出席を頂き、国に対する要望は聞き届け頂ける路線が開けました。



駒ヶ根の縣市協調を熱く語る杉本市長



自民党復権を語った吉田参議院議員

国・県・市が協調できることにより、地方自治は円滑な運営が可能になります。佐々木祥二県議は全力で、混迷する日本の難問を乗り越え、長野県民と駒ヶ根市民が安定と安心が出来るよう賢明の努力を行うと新年の抱負を語っております。

自由民主党も昨年八月の大敗北を謙虚に反省し、宮下一郎氏の復権も念頭に、0からの出発で、自由と民主主義、自由な資本主義経済の進展を目指す政党として生まれ変わる決意で頑張っている。

自由民主党に対しても今後ともご支援をとお訴えした。

民主党衆議院議員 加藤 学 さまからのメッセージ

新春県政報告会の開催にあたって、どうもありがとうございます。長野県は、地方自治の発展のため、本年に限りご協力をお願いしております。佐々木祥二県議会議員のご指導に感謝を申し上げます。今、この国は、大変難しい経済・財政状況にありますが、今年はこの国にとって正念場の年です。今、この国は、大変難しい経済・財政状況にありますが、今年はこの国にとって正念場の年です。今、この国は、大変難しい経済・財政状況にありますが、今年はこの国にとって正念場の年です。